

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.6

2012年4月度 活動報告 (2012年5月28日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



東北にも、遅い春がやってきました。伊藤牧師が「こぶしが咲くと桜も咲く」と現地の方から教えて頂いたと言っていました。たしかにこぶし・桜・木蓮・レンギョウなどが、同じ時期に花開き、風景に色を添えていました。

被災地各地では、津波到来を記憶に残す碑や、慰霊碑が整えられはじめています。震災から2回目の春です。

2012年4月の活動をご報告いたします。



【となりびと】4月からのスタッフ体制

3月末に続き、4月中もスタッフの入れ替えがありました。2011年から活動を続けて下さっていた鶴見政和さんが活動を終了。3月中旬に一度ご自宅に戻り、活動を休止されていた抱井さんが、またとなりびとに戻って来て下さいました。また仮設のお茶会担当として毎週火曜日に塩竈市在住の三浦孝子さんが、7月までお手伝いくださることになりました。顔ぶれも新たに、となりびと一同がんばっています。

・ルーテル支援センターとなりびと (事務所現住所：宮城県仙台市青葉区宮町) スタッフ

派遣牧師 野口勝彦

スタッフ 佐藤文敬(チーフスタッフ)・佐々木潤・千葉一・抱井昌史・三浦孝子・押野美穂(以上7名)



⇨ 去年の6月から8月、今年1月から4月までとなりびとで活動させていただき感謝しています。仮設住宅の方々に顔を覚えて頂き「あら、ルーテルさん!」「いつもありがとね～」などと声をかけて頂くようになり、続けて支援していくことの大切さを知りました。離れていても常に気にかけています。今後も出来るだけ携わってあげたいと思います。関わった人たちとの絆を忘れずに。(鶴見政和)

⇨ お茶っこサロンの楽しい茶話を通じて、石巻の皆様からは、郷土料理の仕方や民謡、生活の話など生きる力を学ぶ機会を頂いております。微力ながら皆様に寄り添い、共に歩んでいきたいと思っています。(三浦孝子)



【となりびと】介護施設への長期ボランティア派遣



2011年11月中旬より、女川町のデイサービスセンターおながわへボランティアを派遣しています。前任の中野さんのあと、2月半ばから活動して下さっていたボランティアの市川さんが活動を終わられました。

市川さんは昨年も気仙沼の介護施設で約1か月半の間、介護ボランティアをされました。今回も約1か月半という長期にわたって人手不足になっている介護施設で活動して下さいました。日々刻々と施設の状況が変わる中でご苦勞もあつたようですが、活動中のお休みの日には、となりびとの他の活動場所にも顔を出して、となりびとの活動をあたたかく見守り、応援くださっていました。本当にお疲れさまでした!